

評価基準) A十分に達成している B達成している C達成がやや不十分である D達成が不十分である

項目1 教育理念・目的・方針 学院HP参照リンク https://www.esm-juzen.ac.jp/school_guide/

点検項目		自己評価	外部委員評価
①	学院の教育理念や目的、育人人材像は定められているか	A	
②	学院の教育理念や目的、育人人材像が明文化され公表されているか	A	
③	学科ごとの教育方針が明文化され公表されているか	A	

◆ 自己点検評価の理由(他、課題や対応があれば)

校訓・校是を学院案内、学生便覧、学院ホームページへ明文化し、いつでもだれでも確認することができる。
教育指針(ポリシー)、学科ごとの教育方針を学院案内(冊子)、学院webページへ明文化し、いつでもだれでも確認することができる。
学生に対してオリエンテーションなどを通じて冊子媒体を使用し説明している。
保護者会総会・保護者役員会などで保護者に対し、先に挙げた冊子等を使用し、説明するなどしている。

項目2 学校運営

点検項目		自己評価	外部委員評価
①	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	A	
②	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されてるか、有効に機能しているか	A	
③	国のガイドライン等で定める基準が遵守されているか	A	
④	情報システム化による業務の効率化が図られているか	C	

◆ 自己点検評価の理由

前年度の学生動向や官公庁の指針、規則改定などをふまえ、次年度計画を作成している。
運営会議、カリキュラムの検討・協議会等、学則に明文化され有効な機能を果たしている。
国の基準に従い、その都度学則の改定を実施し、第三者機関の審査規定も適宜クリアしている。
予算の問題や設備投資の優先順位もあり、全てが一度にクリアできていないが年計画により課題をクリアしている。

評価基準) A十分に達成している B達成している C達成がやや不十分である D達成が不十分である

項目3 教育活動		自己評価	外部委員評価
点検項目		自己評価	外部委員評価
①	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	A	
②	教育目標に応じた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	
③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	
④	関連分野の医療施設との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	A	
⑤	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	
⑥	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	A	
⑦	成績評価・単位基準・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	
⑧	人材育成、目標に向け講義を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	A	
⑨	関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか	A	
⑩	教員の能力開発のための研修等が行われているか	B	

◆ 自己点検評価の理由

校是として建学の精神である「誠の医療」を開学から40年継承しつつ、急速な時代の変化に対応すべく、柔軟な教育環境作りをしている。超高齢社会に伴う医療現場の動向に即した臨床教育、実践教育を推進し、他職種連携がさらに重要となる中で、理学療法士・作業療法士の真の専門性を確実に養う教育・養成に務めている。指定規則に定める基準を遵守し、3年間の学業修得に必要な教育課程において、基礎、専門基礎、専門分野それぞれに秀でた人材、経験豊富な人材を専任教員並びに付属病院のPT・OTを非常勤講師として配置し、シラバスに従って講義や実習を行っている。また、学内のFD委員会と連携し、各教科のコアカリキュラムについて意見を交換するなど次年度以降の更なる教育向上に努め、年に1回は大学教授を招きFD研修を行い、教員の授業内容・方法を改善し向上させるための組織的取り組みも行っている。

項目4 教育成果

点検項目		自己評価	外部委員評価
①	資格取得率の向上、維持が図られているか	A	
②	就職率の向上、維持が図られているか	A	
③	退学率の低減が図られているか	B	
④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	B	

◆ 自己点検評価の理由

両学科100%合格を目標に、国家試験対策講義、業者模試、学科別特別講義、ゼミ形式による指導、個別指導など多様な対策でアプローチしている。
 平成30年度 国家試験合格率 PT学科:100%、OT学科:70%、就職率:PTOT学科とも100%
 令和元年度 国家試験合格率 PT学科:100%、OT学科:100%、就職率:PTOT学科とも100%
 退学率低減のために、専門カウンセラーによる完全にプライベートが守られた、学生相談室を設置し進学・進路相談などを行い学生をサポートしている。
 在校生には学業に支障がない範囲で、積極的なボランティア活動を行うようサポートしている。
 卒業生の動向については同窓会を通して確認している。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目5 学生支援

点検項目		自己評価	学校関係者評価
①	就職に関する体制は整備されているか	A	
②	学生相談に関する体制は整備されているか	A	
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	C	
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A	
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか	C	
⑥	学生の生活環境への支援は行われているか	C	
⑦	保護者と適切に連携しているか	B	
⑧	卒業生への支援体制はあるか	A	

◆ 自己点検評価の理由

①求人閲覧室を整備し学生が求人票を確認しやすくしている。学生個別に対応し、履歴書作成を含め就職活動への支援を行っている。
 ②複数の担任によるよりきめ細かい学生指導、専門カウンセラーによる相談室を設置している。
 ③成績優秀者への特待制度による経済支援を行っている。日本育英会などの学費支援の案内及びサポートを行っている。
 ④全学生、毎年4月に附属病院で健康診断を行っている。毎日の検温と体調不良者を担任がチェックしている。
 ⑦⑤年に一回、保護者懇談会を開催し保護者と意見交換を行っている。また担任が適宜保護者へメールや電話で連絡している。
 ⑧⑥卒業生に対し同窓会や県士会とも連携し様々な分野の勉強会を開催している。

項目6 教育環境

点検項目		自己評価	学校関係者評価
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	B	
②	学外の実習施設について十分な教育体制・生活環境を整備しているか	A	
③	防災に対する体制は整備されているか	A	
④	図書など教育上必要な資料が系統的に整備されているか	B	

◆ 自己点検評価の理由

指定規則、ガイドラインなどで定める基準が整備されている。教育上必要な機器、教材、図書それぞれ使用期間、改定内容など見直しを行い、年間購入が必要な備品。老朽化・永年劣化が著しい備品、内容の大幅な改訂など状況に応じて、機器・備品・模型標本を整備している。

天災などの想定外な事案が発生し、学内自体の安全性が損なわれる災害や事件・事故に備えるため、国の危機管理におけるガイドラインを基準に学内の危機管理マニュアルを見直し、防犯面・災害面ともに安全・安心な教育環境の維持・確保に努め、関係機関や関連業者との連携を図っている。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目7 学生募集と受け入れ

点検項目		自己評価	学校関係者評価
①	学生募集活動は適正に行われているか	A	
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	A	
③	学納金は妥当なものとなっているか	B	

◆ 自己点検評価の理由

広報室を設置し、室長を中心に学校訪問など積極的に行い、学内状況・教育成果などについて説明している。
 入学者の構成選抜実施と入学定員が遵守されている。
 入学者選抜要綱が整備され、公表されている

項目8 財務

点検項目		自己評価	学校関係者評価
①	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	
②	財務について会計監査が適正に行われているか	A	
③	財務情報公開の体制整備はできているか	A	

◆ 自己点検評価の理由

年度末、年度初にて事業の反省と計画の報告書を作成し、理事会・評議委員会を通じ承認を得ている。

